

## 2007年度第2回番組審議会議事録

1. 開催日時 2007年7月23日(月)16:00~17:00

2. 開催場所 弊社会議室

### 3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 5名 為岡務・高木邦子・木辻清子・山本幸男・澤田智恵子

3-3 欠席委員 3名 正岡健二・萩尾利雄・平川愛恵

補：放送事業者側出席者 日比野純一・平野由美子

### 4. 議事

#### 4-1. 番組審議

第2回審議番組 6月17日(日)15:00~16:00 放送

6月27日(月)15:00~16:00 再放送

「ステーションキャンペーン 日本国憲法を読む」

第6回 「戦後もひとつの創憲 - 沖縄からの問いかけ - 」

パーソナリティ：大橋 愛由等 ・ 安西 佐有理

ナレーション：神田 裕 ・ 金 千秋

2007年1月からステーションキャンペーンとして日本国憲法をテーマに毎月1回(再放送あり)放送している番組の6回目。

大橋愛由等さんは、毎週月曜日 13:00~14:00「南の風」奄美篇のパーソナリティ。

### 5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

### 6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

#### 【正岡健二委員】

- ・ 番組全体として音量、音質ともに良好。
- ・ パーソナリティの大橋氏の意図及び論理構成が明確で聞き取り易く、クオリティの高さを感じる。
- ・ 曲も挿入のタイミングが良く興味深い楽曲であった。
- ・ 現憲法の裏側(草案の経緯、賛否両論等)を探ることは大事なことだと思っていたので興味深い番組であった。

#### 【萩尾利雄委員】

- ・ 番組で語られていること(琉球共和国社会憲法の提案が作成されていたということ)は初めて知った。沖縄の苦悩が感じられたが個人的には理解し難い内容であった。
- ・ 挿入歌は歌詞がない曲が相応しいのではないかと思った。恣意的なものを感じた。

## 6-2. 出席者の審議

### 【山本幸男委員】

- ・冒頭の神田氏のメッセージは良いと思う。番組内容も良いと思うが私個人としては食指の動かないテーマである。
- ・歴史を扱うものは今の社会への影響を考慮する必要がある。
- ・番組全体として音も声も良かった。

### 【澤田智恵子委員】

- ・メッセージ性が強い番組であった。
- ・沖縄、琉球についてもそうだが、まだまだ知らないことがたくさんあるという事実にびっくりした。
- ・現在時勢として改憲の動きがあるが、現憲法が自分にとってどうかということなどを考える必要があると改めて思った。
- ・全体的に音が聞き取り易かった。

### 【木辻清子委員】

- ・初めのナレーションから溶け込んで聞くことができた。
- ・選曲も良かったし面白い歌詞で番組内容に合っていた。
- ・全体的には知らないこと、初めて聞くことばかりで難しかった。しかし、沖縄の人々がいろんな思い、大変さや辛さを抱えてきたことがよく分かった。

### 【高木邦子委員】

- ・始めはタイトルだけを見て気が重い話だと思ったが、沖縄について知らないことが発見できて良かった。
- ・この付近（神戸市長田区）にも奄美出身者がたくさんいる。今まで自分では交流してきたつもりだが、深いところではできていなかったのではないかなど、切々としたものを感じ考えさせられたし反省させられた。
- ・音や構成は慣れた感じで聞き易かった。また曲も心地良かった。

### 【為岡勉委員長】

- ・全体として硬い感じで聞くのが辛かった。
- ・構成は良い。
- ・日本には日本人が住むという当たり前と思われることに沖縄の人は違和感を感じるであろう。この沖縄の様な現実があったということを日本人は近代史として勉強して来ていない。今の憲法改正論議に反論なり意見を述べるためにはいろいろな目線からの歴史認識が必要である。

## 7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置 担当スタッフへ今回の審議内容を連絡した。

8．審議内容の公表について

8-1．公表内容 議事の内容

8-2．公表方法

8-2-1．自社放送 2007年8月4日(土)17:50~18:00 放送予定

8-2-2．議事録の設置

8-2-3．ホームページに掲載

以上